



1964 年 (S39) 9 月 1 日完成の西館。現在の近森オルソリハビリテーション病院の場所

～重症コロナ患者の受け入れ～

コロナ禍において救急病院としてやるべきこと



近森病院 感染症内科 部長 石田 正之

▼グリーンゾーンでの多職種カンファレンス



▼人工呼吸器を装着した患者を診療する様子



▼レッドゾーン内の清掃は看護師が行う（清掃業者が入れないため、朝夕 2 回実施）。患者の退室（退院や転棟）の際は、UV 照射器を使用し、さらに拭き上げるなど念入りに清掃



▼レッドゾーンとグリーンゾーンを分けるビニールカーテンを挟んでの指示



地域医療を崩壊させない

当院でのコロナ禍における対応は、大原則として、「救急病院として、通常の救急医療を崩壊させない」と言うことです。

しかしながらコロナ陽性者が急激に増えてきた場合、救急医療も含めた地域医療が破綻する恐れがあります。

その様な事態が危惧される場合には、地域医療を崩壊させないという使命のもと、これまでの救急医療および集中治療のノウハウを生かし、重症例を中心にコロナ陽性者の入院診療に当たるという立場で医療を行って参りました。

加えて、在宅療養の始まった第 5 波においては、保健所より要請のあった在宅療養患者の診療にも当たっております。

限りある病床の効率的な運用

医療資源には限りがあり、それはコロナ診療においても同様です。コロナ患者を受け入れる専用病床にもその数に限りがあります。そのため、治療後に他者への感染性がなくなったと判断されるものの、リハビリなどが必要ですぐに退院が困難といった方には、その機能がある一般病棟へ転棟させるなど、病棟機能を使い分け効率的に行い、受け入れが滞る事がないように診療を行っています。

いつもと変わらない診療の提供を

第 3 波以降、現在に至るまで、通常の救急医療と並行し、多くの重症コロナ患者さんの診療に当たっておりますが、コロナ前とほぼ変わらず、診療の提供・継続をすることができています。

これは従来から当院が行っている、

- ・業務の効率化（各職種の専門性が必要とされる業務に絞って行う）
- ・それを実践するためのチーム医療の展開
- ・病棟間の密な連携によるシームレスな治療の提供

上記を十分な感染対策を実施のもと、病院全体でこれまでと変わる事なく展開することができた為と考えています。これにより、一般の診療への負担を最小限にとどめ、救急診療に関しては制限を加えることなく、病院を運営することができました。

これからも、コロナも含めて、これまでと変わる事のない包括的な医療の提供を行って参ります。

いしだ まさゆき

※コロナに関する在宅療養者および一般の外来受診については、保健所からの要請を受けて診療しております。まずは下記へご連絡ください。

【新型コロナウイルス健康相談センター】088-823-9300 (高知県庁内)
受付時間：平日・土日祝日にかかわらず 9 時から 21 時

※左記受付時間以外で、発熱や呼吸器症状があり、新型コロナウイルス感染症が疑われる方で、夜間・緊急に医療機関での対応を要すると見込まれる場合

- (1) 高知市にお住まいの方：088-822-0577 (高知市保健所)
- (2) 高知市以外にお住まいの方：088-823-1111 (高知県庁代表)



近森病院・近森リハビリテーション病院・近森オルソリハビリテーション病院からのお知らせ

11 月 3 日 (水・祝日) は通常診療を行います。

未来の心臓血管外科医育成のために

近森病院 副院長

心臓血管外科 主任部長 入江 博之

日本心臓血管外科学会等が協力して行っています、心臓血管外科サマースクールが開催されました。昨年はコロナのために開催されず、今年は各地での分散開催となりました。四国では当院が実施会場となりました。

1日目の8月28日(土)はwebでの講義、2日目の8月29日(日)には各開催地での心臓ウェットラボが

行われました。当院での参加者は初期研修医5名で、皆将来心臓血管外科を志す人たちでした。ウェットラボには手術室スタッフ、臨床工学技士も協力してくれました。無菌豚を使用し、約1時間心臓血管外科に必要な解剖を説明し、その後実際に自分達で大動脈弁置換術及び冠動脈バイパスを体験しました。皆初めてのことで時間はかかりましたが、一生懸命やり、達成感はあったようです。

▼無菌豚で冠動脈バイパス術の体験



皆とても楽しかったとの感想を述べていました。今後彼らが心臓血管外科医として成長してくれることを期待しています。

いりえ ひろゆき

10月の歳時記

山茶花

近森オルソ

リハビリテーション病院 3階
看護師 近澤 綾菜



日本原産の山茶花(サザンカ)は、日本人にとってとても馴染み深い植物と思います。花言葉は、困

難に打ち勝つ、ひたむきさという

意味があるそうです。
辛い日々が続いています。感染症が広がり2年前なら出来ていた当たり前前の生活ができない状況です。それでも、負けないように山茶花の花言葉のように頑張りたいです。 ちかざわ あやな

絵も筆者



▲手に修了証明書を持つ参加者たち、左から齋藤廉 Dr. (高知大学医学部附属病院)、廣瀬聡一郎 Dr. (近森病院)、吉本公美 Dr. (近森病院)、江戸直樹 Dr. (高知県立幡多けんみん病院)、濱田雄一郎 Dr. (近森病院)、執筆者は後列中央

● 近森看護学校通信 58 ●

Instagram 始めました

近森病院附属看護学校 広報担当教員 磯野 真世

看護学校の広報担当教員の磯野と申します。今春着任したばかりですが、日々近森愛をInstagramを通して発信しています。

本校は高知駅から徒歩5分、母体病院から西へ400m程の場所に位置し、母体病院を中心に急性期～在宅まで幅広く実習を行っています。特に近森病院での急性期実習は、手術見学や集中治療室での看護を学ぶことができ、学生さんに大きな刺激となっています。Instagramには、学校の施設や学生さんの自然体な姿、オープンキャンパスの紹介



follow me!



などを載せています。ぜひ、一度覗いてみてください。

いその まよ

写真で見る近森の歴史解説 その2



社会医療法人近森会

理事長 近森 正幸

2000年7月号「ひろっぱ」より
当時52歳

ER 救急センター 2000 年代

近森のER（救急センター）の時代
の先駆けは、2000年7月に高知で民
間初の本格的な心臓血管外科、ICU（集
中治療棟）が開設され、高度医療が
スタートした。それとともにERも
設置され、根岸正敏センター長のもと
組織的な救急医療が行われるよう
になった。

医療面では循環器や消化器、脳神
経外科、消化器外科、泌尿器科、放
射線科など多くの分野でカテーテル
や内視鏡による治療が積極的に行わ
れるようになり、身体に負担が少なく、
治療効果も高くなっている。さ



ER救急センター

2000年代

らには高知初の地域医療支援病院が
承認され、本格的な地域医療連携がス
タートするとともに、栄養サポート
チームが開始され、全国でもトップ
の病棟常駐型チーム医療が始まった。

ERの時代は医療面でもシステム面
でも近森が急速に「急性期医療の質
を高めた時代」と言える。

ちかもり まさゆき

マイナンバーカードの 健康保険証利用対応の開始について

診療支援部 電子カルテ管理課

課長 長山 信夫

国が進めているマイナンバーカードを活用する推進ロードマップのうち、
医療分野では下記の利活用があります。

1. 健康保険証として利用できる機能
※）利用にはマイナポータルサイトでの申請が必要です。
2. 患者さんの同意があれば特定健診情報／薬剤情報を医師・
薬剤師が参照

ご利用いただける場所は、顔認証付きカードリーダーを
設置した病院・診療所（歯科含）・調剤薬局となります。

■メリット

- ・患者さんはマイナンバーカードを保険証
として利用可能です。病院側はオンライン
資格確認が可能となり、保険情報を正確に
登録できます。
- ・病院側は特定健診や薬剤情報を参照する
事で治療の参考となります。

9月27日（月）より、近森病院、近森リ
ハビリ病院、近森オルソリハビリ病院の受
付でご利用できる予定です。

ながやま のぶお



▲近森病院総合受付

▼カードリーダーに設置し画面の
アナウンスにそって簡単に操作できる



ハッスル研修医 オンとオフ



初期研修医 川瀬 博也

こんにちは、初期研修医1年目の
川瀬博也です。高知生まれ、高知育
ちで、高知が大好きです。

さて4月から始まった初期研修も
あっという間に5ヶ月が終わろうと
しています。緊張した初めての救急
外来や当直がもう遠い昔のように感
じます。少しずつできることが増え
その何倍ものできないことに気付く
日々ですが、上級医の先生方、コメ
ディカルスタッフの方々などの助け
があり、充実した研修をさせていた
だいております。

5ヶ月間働く中で、先生方のオン
オフの切り替えに驚きました。やる
時はやる、休む時は休むという環境
は自分に合っており、近森病院で研
修できて良かったと思っています。

このままのペースで2年間が過ぎ
ると思うと焦りますが、しっかり地
に足をつけ、オンの時間を充実させ
て成長していきたいです。もちろん
オフの時間も大切にしたいので、制
限なく楽しめるようになることを
願っています。

初心を忘れずに精進していきます
ので、職員の皆様、今後ともお力添
えをよろしくお願い致します。

かわせ ひろや

近森病院附属看護学校

OPEN
CAMPUS

2021 11/7日 2022 3/26日

詳細はホームページをご覧ください

お問合せ 088-871-7582
受付 9:00~17:00 平日のみ



憧れへの挑戦



ホテル日航高知 旭ロイヤルさんから 在籍型出向で当院にて勤務開始

ホテル日航高知旭ロイヤル 多田 和正さん（現在は施設用度課にて勤務）



◀病棟で掲示作業中

▶ホテルでの勤務風景



ホテル開業以来、宴会課、レストラン課、宿泊課と全てお客様と直接接する部署に在籍しております。その間、接客の楽しさや難しさを感じながら様々な事を経験いたしました。

ホテルで培ったスキルが少しでもお役にたてればと思っております。出向期間中、よろしくお願いいたします。

ただ かずまさ

社会福祉法人ファミーユ高知

男女共同参画推進企業 表彰を受けました

高知ハビリテーリングセンター
センター長 西岡 由江



▲市長より表彰を受ける西岡センター長

男女ともに働きやすい環境づくりを積極的に取り組んでいる職場として、下記実績が認められ表彰を受けました。

- ・女性管理職の積極的な登用（女性登用の割合：役員 37.5%・管理職 57.1%）

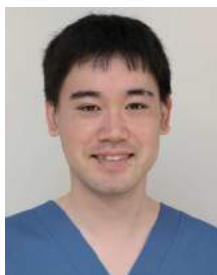
- ・ワークライフバランス推進企業であり、育児介護休業規定やその他の休暇が整備され、実績があること

これからも職員が働いてよかったと思える組織であるよう環境整備することはもちろん、その情報を発信することで社会全体をより良い方向へ進める一助となることを目指しています。

にしおか よしえ

学会発表報告

来年は必ず現地で



演題名：Acute circumflex coronary artery occlusion ;
dilemma in diagnosis and management
学会名：ESC (European Society of Cardiology) Congress 2021
(欧州心臓学会)

近森病院 循環器内科 小松 洵也

過去5年間の急性心筋梗塞を分析し、ポスター発表を行いました。左回旋枝が原因の心筋梗塞では約3分の1で心電図変化がなく、治療が遅れる傾向にありました。

心電図変化のない胸痛では左回旋枝の梗塞を考える必要があります、今後いかに早期診断を行うか検討を行い

ました。今回 Web 開催だった ESC ですが来年はバルセロナで開催予定です。地中海の風を感じながら美味しいワインを飲むことを目標に引き続き頑張りたいです。

こまつ じゅんや



◀ Web 掲載

お弁当拝見 96



社会人になって

近森病院 5C 病棟
看護師 西村 果音



私は中学校の時から母にお弁当を作ってもらっています。4月から社会人になり自分自身も仕事を始めてから、仕事をしながら家事をこなしていくことはとても大変で、簡単なことではないのだと感じます。

毎日忙しい中で、約8年間お弁当を作ってくれた母に感謝したいです。仕事に慣れて余裕ができれば、自分でお弁当を作ったり、母の分も



作ったりなどして少しでも家事の手助けをしていけたらいいなと思っています。

にしむら かのん

浅羽文庫設立

食医に憧れて。夢を次へ

第2回 医食同源の考え

近森病院 総合診療科・総合内科
部長 浅羽 宏一



糖尿病専門医を取得した頃に、学生の頃から興味があった漢方医学の勉強を始めました。漢方医学の勉強を通じて、2000年前の中国の医学書である黄帝内経には、一番偉いのは薬で治療する疾医（疾患を治す医者）ではなく食で病気を予防する食医であると書かれていることを知り、漢方医学の栄養学である薬膳に興味を持ち勉強を始めました。



漢方薬の原料である生薬も野菜も同じ植物です。栄養素が多く含まれているのが野菜で、治療効果のある成分・ファイトケミカル（ポリフェノール、サポニンなど）が多く含まれているのが生薬です。野菜にも多少はファイトケミカルがありますから、工夫すれば多少の不調は日常の食事で治すことが出来ます。生姜、シナモン、棗は食べ物ですが、生薬でもあります。勉強を始めて数年後に以前から交流のあった栄養士さんとのご縁で、高知学園短期大学食物栄養科で薬膳の特別講義を数年しました。食医・薬膳の本が増えました。（次号に続く） あさば こういち

「乞! 熱烈応援」

視野を広げて



近森病院 消化器内科
科長 大川 良洋

早いもので初期研修医として近森病院に来て10年が過ぎました。これまでは日常臨床業務や自身の成長のために時間を使うことが多かった様に思います。

これからは少し視野を広げて、後輩の教育や消化器内科の発展にも取り組み、より良い医療の提供に繋がるように、頑張っていきたいと思います。

おおかわ よしひろ

リレー エッセイ

はなまると家族になって

近森病院 HCU 看護師 森本 幸子



華団（はなまると）が家に来たのは生後9ヶ月の頃でした。先代犬が亡くなった時、愛犬との別れが辛くもう犬は飼わないと決めていました。しかし、小動物管理センターで華団を見た瞬間、また一緒に犬と生活したい!と思いました。そのような気持ちになったのは、看護師として働く中で生と死に立ちあう事が多く、自分自身の死生観に変化があったからだと思います。

野犬だった華団は、警戒心が強く1年位は私達の前で眠ったり、お腹を見せたりする事はありませんでした。散歩に慣れるのにも数ヶ月かかりました。ある訓練所では2歳になる頃に噛み犬になると言われ悩んだ事もありました。でも、センターや家庭犬トレーナーの斎藤先生に相談しながら、絶対に叱らない、褒めるトレーニングを続けとても優しい子になりました。私が保護する仔猫たちの世話をまるでお母さん猫のようにしてくれます。最初は自分の気持ちをあまり出さない子でしたが、今では嬉しい、怖い、何かしたいのかを私に伝えるのがすごく

上手になりました。

犬の寿命は人間に比べると短く、長くても20年くらいです。最期を迎える時に後悔や悲しみの泣き顔ではなく、華団が安心できるようにいつも通りの笑顔で過ごしたいと思っています。

もりもと さちこ



▲弟のムギ（右）と遊ぶ華団お姉ちゃん

井の中の蛙、大海へ

近森病院 整形外科 西田 一平



2020年7月から2021年3月まで、慣れ親しんだ近森病院を離れ他院で研修させて頂く機会がありましたのでご報告致します。

高知医療センター

医療センターでは重症外傷や脊椎疾患の手術を中心に幅広い分野の手術が行われています。最大の特徴は

手術室に併設されたCTで、重症外傷の患者さんの全身CT検査、動脈塞栓術などの血管内治療、整形外科緊急手術を一期的に行うことが可能です。1分1秒を争う重症外傷の初期治療に大変有力な設備だと感じました。脊椎手術では術中ナビゲーションを用いて椎弓スクリューの刺入方向や深度をリアルタイムに確認でき、神経血管損傷のリスク低減に役立てられていました。

岡山大学病院

大学病院では腫瘍、リウマチ、先天性疾患等より専門性の高い疾患を診療しており、近森病院では経験し

難い様々な分野の手術症例を経験させて頂きました。教育機関・研究機関でもあり、日常診療をこなしながら研究や学会発表も積極的に行われており、ポリクリ実習の学生を対象にしたギプス実習・縫合実習などの指導も盛んでした。医局に入局しそれぞれの専門性を高めんとする大学院の先輩方のお話も沢山伺うことができ、自分の将来を考えるきっかけにもなりました。

久しぶりに戻った近森病院はやはり居心地が良く、実家に帰ったような気分です。まだまだ未熟者ですが、他院で得た経験を糧に、高知の医療に今まで以上に貢献できればと思っています。引き続き宜しくお願い致します。

にしだ いっぺい



▲医療センターにて。院内開催の学会開催をお手伝いさせて頂きました

整形外科 芝太郎先生退職のご挨拶

戦々恐々と 衣笠道場の門を叩く

近森病院 整形外科 芝 太郎

この度私事で、急ではございますが退職させて頂くこととなりました。気がつけば初期研修医から数えて8年目と長い間お世話になりました。

ブラジルまで届くPHS、ドロップアウトも多いなんて噂も絶えない近森病院での初期研修を選び、その後は衣笠道場へ。実際に働いてみるといい環境でしたが、当時は戦々恐々と門を叩いた記憶があります。

衣笠先生率いる近森病院整形外科は骨折治療の分野では全国でもかなり有名で熱い指導に枕を濡らした日も多かったですが、門下生ゆえに学会、勉強会で色々な方々に優しく接していただいたり様々な機会を頂け整形外科医としては最高に充実した時間を過ごせました。



▲筆者（左）と衣笠統括部長

麻酔科先代末盛先生から始まり杉本先生、小坂先生のご厚意により麻酔科研修もさせて頂き整形外科専門医に続き麻酔科標榜医まで取得させて頂けたのも感謝しております。

本来ならば資格取得後もっと働いて恩恵を返さねばならぬところですが、退職させて頂くこととなりました。新天地では忘れ去った初心を取り戻して、心機一転頑張りたいと思います。

長いようで短い間でしたが皆様これまでご指導いただき有難うございました。引き続き狭い医療界ですのでご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。 しば たろう

2021年8月の診療数 電子カルテ管理課

近森会グループ

外来患者数	16,924人
新入院患者数	1,051人
退院患者数	1,049人

近森病院（急性期）

平均在院日数	12.38日
地域医療支援病院紹介率	89.67%
地域医療支援病院逆紹介率	281.02%
救急車搬入件数	580件
うち入院件数	291件
手術件数	506件
うち手術室実施	318件
うち全身麻酔件数	210件

編集室通信

近森75周年、いよいよ12月24日の記念日が近づいてきました。それぞれの現場でどなたにも思うことがあり、来し方を振り返る節目にもなっているのではないのでしょうか？めまぐるしく一時も休まず、止まない槌音を背に前へ前へ進んできた近森の75年。もうすぐ大きな節目を越えて、次代への歩みが始まります。また日に新たなり。

ひょん

ありがとうございました

土佐鯨処「おらんく家」様より
お鯨の詰め合わせをいただきました



9月9日、土佐鯨処「おらんく家」様より、医療従事者支援として鯨折り 350食をいただきました。

職人さんが心を込めて作ってくださった本格的なお鯨に、スタッフは「おいしい!」「お鯨久しぶりだ」と喜んでいました。鯨折り一つひとつには手書きの感謝メッセージがあり、お心遣いを感じました。ありがとうございます!



オンラインビューティー講座実施



ナガイレーベン株式会社様からのご厚意で、株式会社資生堂様のご協力のもと「ビューティー講座」を8月23日に行いました。マスクを付けた顔でも、のっぺりしない、元気に明るく見えるメイクのポイントなど教えて頂きました。

10月17日孫の日企画 石原さんご一家

本院6A看護師の石原美和さんの夫、靖之さんのご実家は本院もお世話になっている(有)石原産業さんで、お子さんも「そと」に通っています。

今回は、おばあちゃん、お父さん、お母さんと一緒に、現在も「そと」に通っている次男君と、卒園した長男君とパチリ★ご出演ありがとうございました(おじいちゃんは今で残念!)



私の趣味

我が家の猫

近森病院附属看護学校 事務局 主任 谷 仁美



「趣味は何?」と聞かれてもすぐに答えが出てこない人生を送っています。休日をどのように過ごしているか振り絞って考えても答えは出なかったため、我が家の猫を紹介します。猫好き夫の意向で捨て猫だった兄弟子猫を引き取りました。素足で過ごせるようにと選んだ無垢の床は毎晩のように開催される猫の運動会ですぐに傷だらけ。「これも味…」と自分に言い聞かせ5年が経ちました。自由気ままに、わが天下で毎日を過ごしていた彼らの日常も息子の誕生を機に大きく変わり、自分たちに注がれていた愛情は減り、毛や尾を

ひっぱられる心配をしながら過ごす毎日に。しかし、賢いオス猫「とら」と感情のまま行動するメス猫「うめ」の2匹はいつも人とくっついていたい性分。うめは毛をむしり取られたり潰されたりする危険を冒してでも息子との距離を縮め、今は息子にも甘えられるようになりました。とらはタイミングをうかがっているようで甘えられる相

手はまだ私たち夫婦のみ。チャレンジ心のある方が良しなのか計画的に進める方が良しなのか正解はよくわかりませんが、兄弟猫と息子の関係を今後も見守っていきたいと思います。ちなみに、息子が寝た時は写真のように微笑ましい姿も見せてくれます。

たに ひとみ

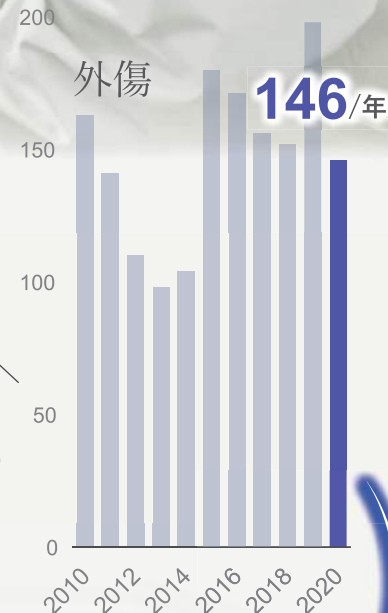
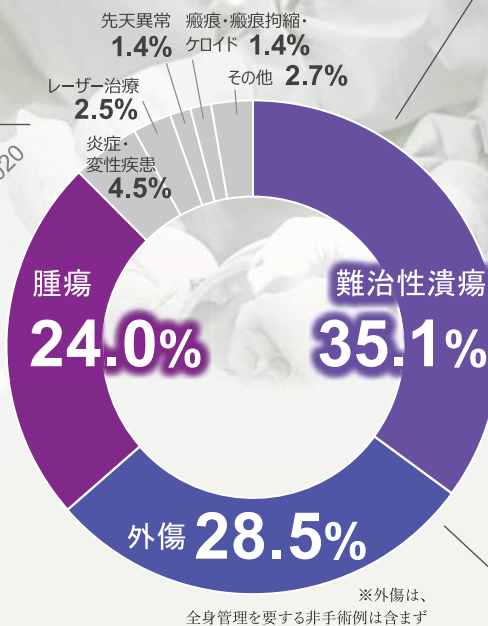
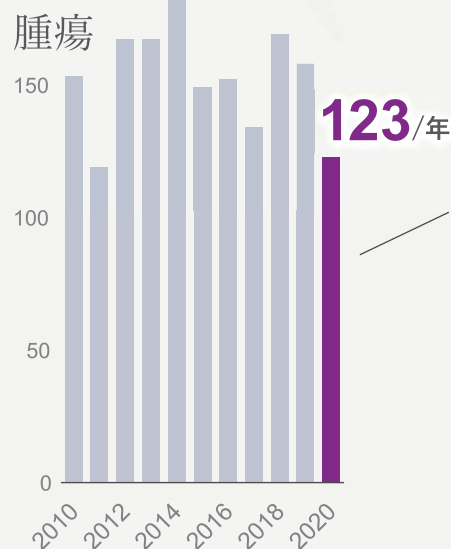
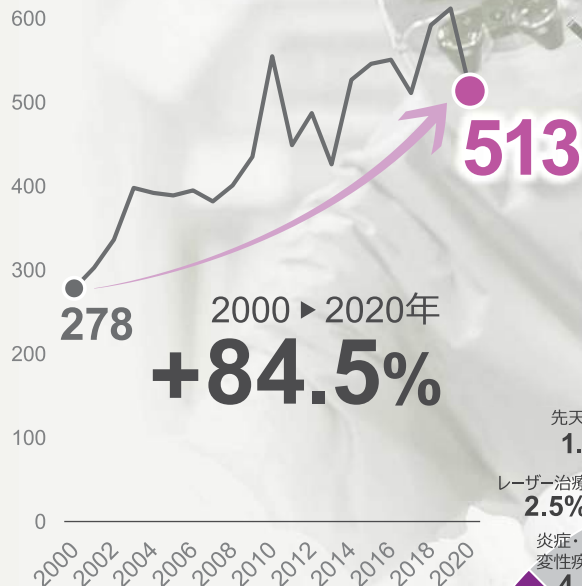


▲黒猫がメス猫「うめ」、キジトラがオス猫「とら」



形成外科の診療実績

手術件数の推移

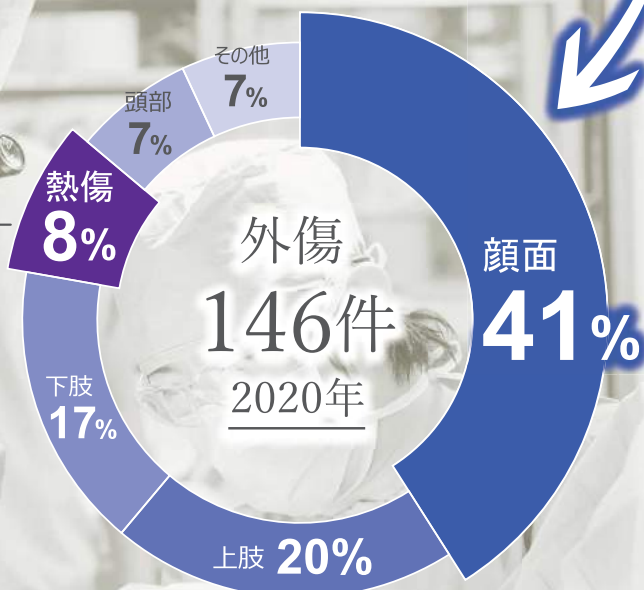
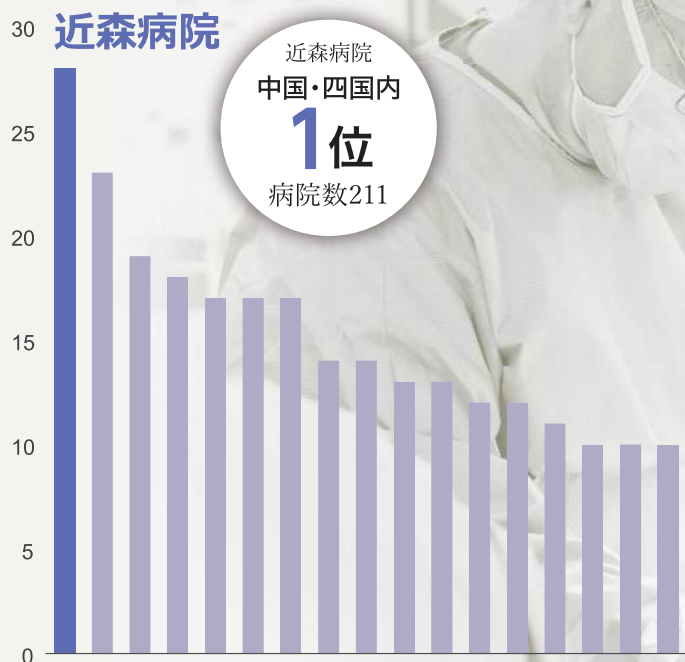


『顔面骨骨折』に関する手術件数

中国・四国内におけるDPCデータ比較 (2019年度)

近森病院

近森病院
中国・四国内
1位
病院数211



広範囲の熱傷にも対応

当院は、特定集中治療室管理料2の施設基準を満たしています。
(2021年8月1日時点で、県内では当院を含め2病院が該当)

出典: DPCデータ 鼻骨骨折整復固定術、頬骨骨折観血的整復術、
眼窩骨折観血的手術等を集計